

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

平成31年1月7日(月)発行 第 35 号 発行責任者:高橋 弘悦

明けましておめでとうございます

昨年とは打って変わって穏やかな正月となりました。「去年のような雪は勘弁してほしい…」と思っていただけに、とても幸せな気分で新年を迎えることができました。

本日始業式を迎えましたが、子どもたちは新年早々1月4日から活動が始まりました。満を持しての3学期の始まりです。

1学期、2学期と子どもたちは、開校初年度の生まれだての学校の伝統を築こうと、学習に、諸活動に懸命に取り組んできました。3学期はその頑張りを次へのステップとして生かしていく時期と考えています。一層のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

会津柳津学園中学校職員一同



七日堂裸詣りに挑戦

全国的にも有名な七日堂裸詣りに本校からも多くの生徒が協力を申し出てくれました。

昨年までは、2校が担ってきた伝統行事ですが、統合により中学校1校となった今、中学校として参加する学校は本校のみとなりました。

こんな中、千年以上続くという町の伝統行事を守ろうと、3年生5名、2年生5名、1年生6名、計16名に加え、それぞれの学年の担任も参加し、例年に劣らぬ参加者数となりました。また、おもてなしのボランティアにも女子4名が参加を申し出て町に貢献してくれます。

校歌に「龍も畏れる人となる」というフレーズがあります。これは民衆の力で只見川に棲む竜神を追い払ったという伝説にちなんだ歌詞ですが、参加しなくても誰にも責められないことに敢えて挑戦しようとした時点で、すでに龍にも畏怖される資質を身につけているといってもいいかと思います。参加する生徒の皆さんには、菊光堂の大鰐口に登り切り、目標を達成する喜びを感じ取ってほしいと思います。



「私を見てください！」

始業式式辞より

おはようございます。冬休みはいかがでしたか？充実した人、だれてしまった人、いいことがあった人、逆についてなかった人・・・それこそ様々だったと思います。でも私は、こうして皆さんと再会できたことを、何よりもうれしく思います。

さて本日、皆さんは泣いても笑っても学年最後となる学期を迎えました。今いる学年の中の、最高の姿を実現する学期です。1・2学期の頑張りを完成させる、とても大事な学期です。そこで、先生方と話し合い、3学期のスローガンを「私を見てください！」としました。自信を持って「私を見てください！」といえる卒業式、修了式を迎えようということです。

そこで学期のはじめにあたり、私から二つお願いをします。

その一つ目は、「覚悟を決めてください」ということです。

私も含めて普通の人は、苦しい時には逃げたり、ごまかしたりしたくなるもの。「覚悟」という言葉には、その逃げ道を自ら断つという意味があります。

今ここにいる3年生は、自分で選んだ希望の実現に向け努力の真っ最中です。そして進路への不安やプレッシャーを感じている人がほとんどであることでしょう。「なるようになれ」と開き直りたくなったり、不安で不安でどうしようもなくなったりしているのではないかと思います。

でも、ある人はこう言っています。「不安やプレッシャーは悪いものではない。不安があるからこそ、『準備を怠りなく』と思い、努力することができる。不安に押し潰されるのではなく、不安こそが自分を動かすエネルギーとなるのだ。」と。また彼は自信についてこうも言っています。「自信は他人がつくってくれるものではない。自分自身でつくるものだ。」と。「その気持ちが、結果としてプレッシャーをはねのける力になっている」と。3年生は、プレッシャーをはねのける「覚悟」を持った姿を、ぜひ1、2年生に見せてほしいと思います。

二つ目のお願いは、「やらされるから、自らやる」です。「人に言われて仕方なくやるようなことはやめて、自分で物事の良しあしを考え、良いと思ったことは進んでできる人間になってほしい」と思います。

本日、七日堂裸詣りに男子16名の方が、ボランティアに女子4名の方が協力してくれます。見ているだけでも「大変だな」と思う行事です。きっと、「この伝統を守るのは私しかいない」と自ら考え、申し出てくれたのだと思います。やらなくても誰にも責められないことに、改めて応じてくれた人たちの心意気には本当に頭が下がります。



このように「やらされるから、自らやる」という意識が育った仲間が一人でも多いほど、この学校はよりよくなっていくと確信しています。自分で考え、自分で行動できるよう心がけてほしいと思います。

会津柳津学園中学校は、開校一年目の学校です。第一期の卒業生である3年生の姿が会津柳津学園中学校の伝統になります。3年生の姿を見て、2年生がその覚悟を決めます。「自ら、この伝統を引き継ぐ」と心を決めた2年生を見て、1年生は新たな柳学ブランドを築きます。

こうした一人一人の自覚が、「私を見てください！」と自信を持っていえる学校につながっていくはずです。皆さんの一層の奮起を期待して式辞とします。

平成31年1月7日